



パブリック債券

2026年春の5つの投資テーマ

INSIGHTS

はじめに：供給ショックが再び市場の前提を揺さぶる

イラン情勢を契機とした地政学リスクの高まりは、エネルギーや資源を中心とする供給網に再び緊張をもたらしています。2022年のロシア侵攻時と同様に、今回のショックも単なる一時的な価格変動にとどまらず、供給網や設備投資の修復を伴うことで長期化する可能性が高いと見ています。その結果、各国では物価上昇圧力が再び意識される一方、消費や企業投資のマインドは冷え込みやすく、インフレと成長の両立が一段と難しい局面に入りつつあります。

このような環境下、中央銀行は金利操作を通じた需要抑制によるインフレ対応を重視する一方、政府は物価高対策や防衛費増大への対応として財政拡張を選好する傾向を強めています。金融と財政のスタンスの不一致は、金利・為替・クレジット市場の変動性を高める要因となり、同時に投資機会を生み出す土壌ともなります。

2026年春のベアリングスの5つのインサイトでは、こうした供給ショック主導のマクロ環境を前提に、グローバル債券および通貨投資において有効と考える戦略の5つの柱をお示しします。



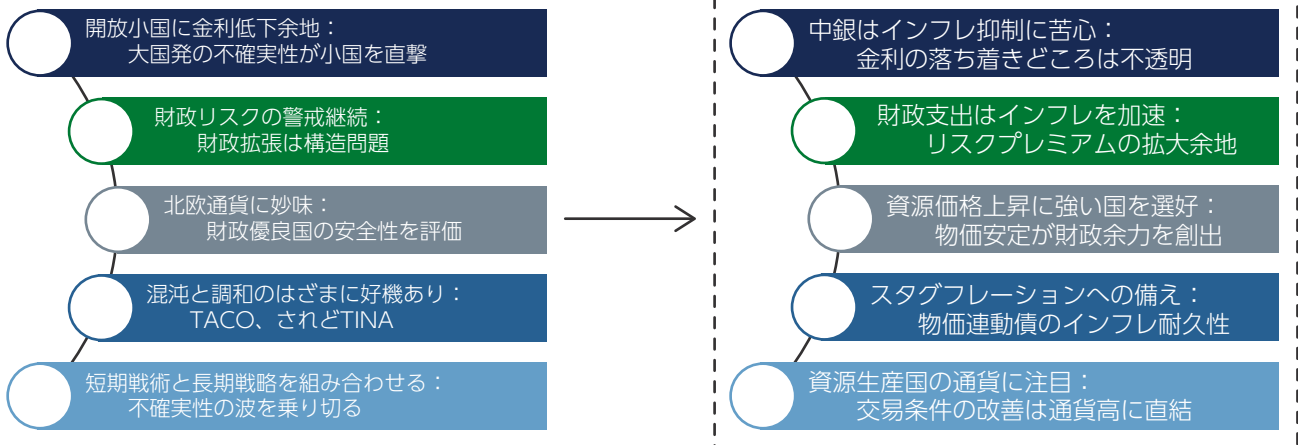
溜学 (たまる まなぶ)、CFA

ベアリングス・ジャパン株式会社

マネジング・ディレクター、執行役員運用本部長

2025年秋のインサイト

2026年春のインサイト



① 中銀はインフレ抑制に苦心：金利の落ち着きどころは不透明

イラン情勢に起因するエネルギー価格の上昇は、2022年のロシア侵攻時と同様に、中央銀行にインフレ警戒を再認識させる要因となっています。景気減速の兆しが見られる局面においても、インフレ抑制に対する信認を損なうリスクを回避するため、中央銀行は慎重な政策運営を余儀なくされる状況です。結果として、必要とされる利下げ開始は遅れ、緩和幅も限定的となりやすく、政策金利は相対的に高止まる可能性があると考えています。金利の「落ち着きどころ」を見極めるには時間を要する局面と見る一方で、いち早く金利の「落ち着きどころ」を正確に予測することが投資収益を生み出すものと考えています。

② 財政支出はインフレを加速：リスクプレミアムの拡大余地

地政学リスクの高まりを背景に、各国政府はエネルギー支援、防衛費、生活費補助などを目的とした拡張的な財政政策を進めています。これらは、短期的には需要の下支え効果を持つ一方で、財政赤字の拡大を通じてインフレの持続性を高める要因となります。財政規律の弛緩は、債券市場においてタームプレミアムの上昇を招き、イールドカーブのスティープ化圧力として表れやすいと考えます。金融引き締めを志向する中央銀行と、景気・社会安定を重視する政府との間のスタンスの乖離は、引き続き市場の不安定要因であり、そこに投資機会が生じてくると見ています。

③ 資源価格上昇に強い国を選好：物価安定が財政余力を創出

原油価格ショックは、先進国間でインフレや成長への影響に大きなばらつきをもたらします。エネルギー自給率が高い国や、エネルギー価格上昇の国内物価への影響が限定的な国、十分な財政余力を持つ国では、物価の安定性が相対的に保たれやすいと考えます。こうした国では金融政策運営の自由度も高く、国債は不確実性が高まる局面において相対的な安定性を発揮しやすいと見ています。原油高の悪影響を受けにくい国を選別する姿勢が重要です。

④ スタグフレーションへの備え：物価連動債のインフレ耐久性

エネルギー価格の上昇と財政拡張が重なる局面では、ヘッドライン主導のインフレが粘着化し、スタグフレーション的なリスクが意識されやすくなります。こうした環境下では、名目債券はインフレ上振れに対して価格下落リスクを抱えやすい一方、物価連動債はインフレ耐性を通じたポートフォリオの安定化に寄与します。割安感の残る局面では、物価連動債は有効なインフレヘッジとして戦略的に活用する価値があると考えます。

⑤ 資源生産国の通貨に注目：交易条件の改善は通貨高に直結

中国によるレアアース管理強化やイラン情勢に伴う供給混乱を背景に、資源・金属市場では構造的な需給タイト化が進行しています。この環境下では、資源・金属輸出国は交易条件の改善や価格決定力の向上を通じて、相対的に恩恵を受けやすいと見ています。インフレや供給ショックへの耐性を持つ通貨として、資源生産国通貨は中長期的に底堅い推移が期待されます。

おわりに：変動性の高い環境こそ、分散と機動性を重視

不確実性の高い環境は今後も継続すると見られますが、その一方で、市場の過度な反応や非合理的な価格形成が投資機会を生む局面も想定されます。

ベアリングスでは、原油高に強い国の債券や通貨を選好しつつ、物価連動債を活用したインフレ耐性の強化、ヘッジコストを考慮した金利リスクの最適配分を行います。機動的なリスク管理と分散投資を徹底し、変動性の高い市場環境下でも安定的な収益獲得を目指してまいります。

ベアリングス・ジャパン株式会社

〒104-0031

東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン7階

TEL: 03-4565-1000

<https://www.barings.com/ja-jp/institutional>

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第396号

加入協会：一般社団法人資産運用業協会

当資料は、ベアリングス・ジャパン株式会社（以下、「当社」）が金融市場動向に関する情報提供を目的に作成した資料で、法令に基づく開示書類あるいは勧誘に関する資料ではありません。当資料は、当社が信頼できる情報源から得た情報等に基づき作成していますが、内容の正確性あるいは完全性を保証するものではありません。当資料に掲載した運用状況に関するグラフ、数値その他の情報は過去の一時点のものであり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。なお、事前の承諾なく掲載した見解、予想、資料等を複製、転用等することはお断りします。

5363928